

FPまつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

2011年3月には東日本大震災がありました。あれからもう7年です。

ところで皆さん地震に対してどのような備えをしていますか？なんとなく先送りになっている場合も多いかもしれませんね。

私が参考にしているのは、首相官邸HPにある、「災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しておこう！～」、です。

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>

- 手の届くところに、スリッパ、懐中電灯、ホイッスルを備えておく
- 非常用持ち出しバッグの中身について

など具体的なポイントが整理されています。準備がまだの方は是非ご参考にされてはいかがでしょうか。



今月号の話題

資産運用ガイド

2月のマーケットは値動きが大きく、ちょっと心配になつた方もいるかもしれません。そんな時の心構えについて考えてみます。

ちょっと気になるお金のコラム

3月は桃の節句です。ひな人形を購入された方もいるかもしれません。高度成長時代が幕を開けた1960年ひな人形はいくらだったと思いますか？



FP 松本相談センター
C F P・社会保険労務士
媚山裕之
〒390-1702
長野県松本市梓川梓856-26
0263-76-1250 090-8741-7358
info@fp-matsumoto.com
<http://fp-matsumoto.com>

最近のニュースから

財務省は2月に2018年度の国民所得に占める税と社会保障負担の割合を発表しました。

2018年度の国民負担率は42.5%

税の負担率：24.9%

社会保障負担率：17.6%

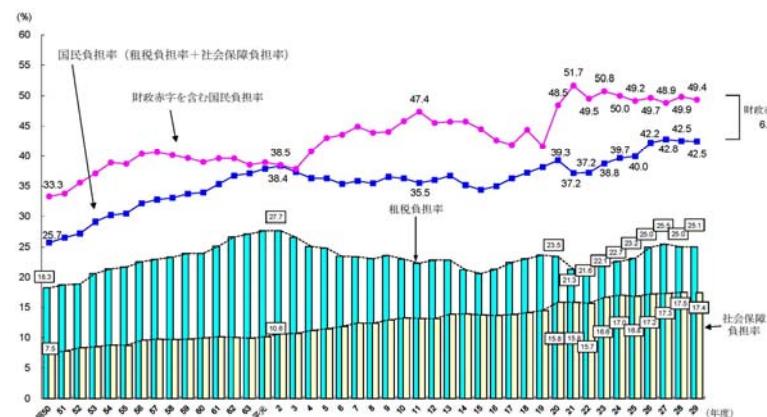
* 国民負担率とは、国民所得に占める税と社会保障の割合で、法人税や会社負担の社会保険料なども含むので、個人の負担率とは異なります。

下図は財務省HPに掲載されている負担率の推移です。

http://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/condition/019.htm

1975年の国民負担率は25.7%でした。今後は、医療保険、介護保険、年金保険の負担増（給付減）は避けられないという見方が多いようです。

社会保障の方向性を見据えた自助努力が益々大切になっていきますね。



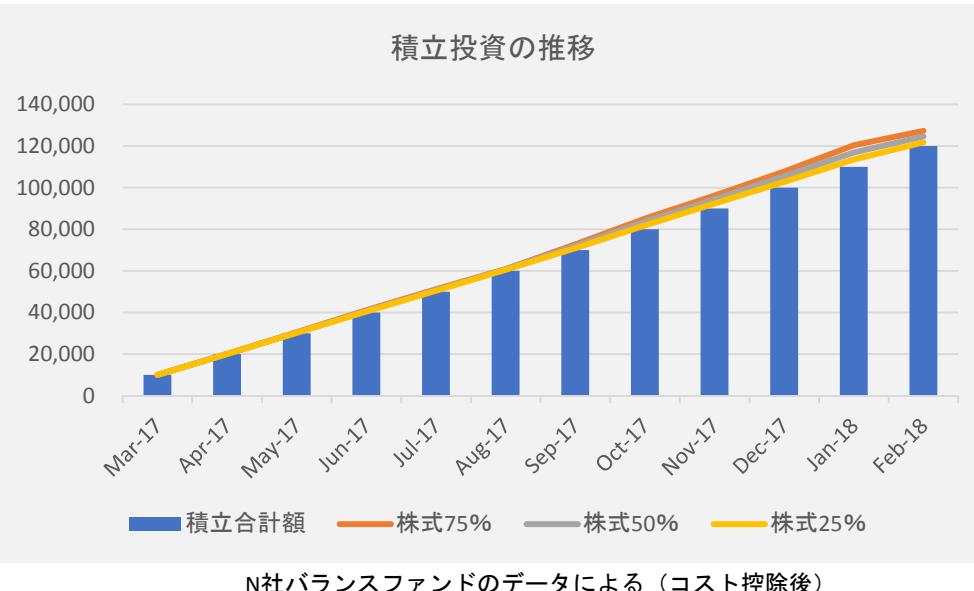
2000年からFP業務を行っています。現在は確定拠出年金の導入及び加入者の方のライフプラン相談、保険相談、資産形成支援業務を中心に活動しています。年間で200人以上の方の相談をさせていただいている。

特に生命保険は、ちょっと見直すだけで保険料は勿論保障内容も大きく変わります。是非ご相談ください。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

2月の株式市場は、日米とも大幅に値下がりしました。1月末→2月末の日経平均は、23098.29→22068.24、と4.45%の下落。アメリカのダウ平均は、26149.39→25029.20、と4.28%の下落でした。またドル円の為替も、109円台→106円台と円高になりました。

1か月の値動きの幅としてはかなり大きい部類に入ると思いますが、株式市場は日々値動きを繰り返しながら、また、時として大幅な下落を経験しながら上昇をしてきました。短期的な値動きに惑わされず、積立を継続することが将来の成果に結びつきます。



2017年3月から始めた毎月10,000円の積立は、2018年2月末で左記図表のようになりました。

2月は積立開始以来、初の大幅下落になりました。

日々の値動きに関するニュースや解説は長期投資の成果とはほとんど関係がありません。

いつもと変わらずに、

投資（積立）期間に応じた資産配分（株式比率）で積立を継続すること

積立額の増額や株式比率を増やす、等の対応を検討すること
の確認をしましょう。

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2017/12末	100,000	107,721	105,456	102,815
2018年1末	110,000	120,389	116,878	113,559
2018年2末	120,000	127,315	124,664	121,795

1日の下落率最大はブラックマンデー

過去最大の下落率を記録したのは1987年10月のブラックマンデーです（次ページ図1参照）。

1987年10月16日（金）2246.74ドル
1987年10月19日（月）1738.74ドル

一日で508ドル安、率にしてなんと22%の下落でした。22%を現在の株価に当てはめると5,000ドル以上になります。

ブラックマンデー直前の高値は10月5日の2640.18ドルです。10月5日から起算すると、901.47ドル、34%の下落になります。

通常はこのような大きな値動きがあると、原因等について解説されますがいまだによくわかつていません。

その後株価はどうなったか？

図2はそれ以降の値動きを表しています。当時、約2000ドルの株価は約25000ドルになりました。

30年の月日がたっていますが、10倍以上です。これが価格変動に耐えたことへの報酬です。

日々の値動きを予想することは困難です。私たちは、今後のライフプランを見据えて、

- ・ 当面置いておくことができる資金かどうか
- ・ 投資期間に応じた資産配分になっているか

など自分でコントロールできることに集中し、あとは資本市場の成長・拡大を待ちましょう。

少なくとも過去は、このようなスタンスで市場と向き合う投資家に対して株式市場は報いてくれてきました。

図1 ニューヨークダウ平均株価 1987/9/1 ~ 1987/11/30

Index Value !DJI

図2 ニューヨークダウ平均株価 1987/9/1 ~ 2018/3/1

Index Value !DJI

ちょっと気になるお金のコラム

ひな人形の値段の移り変わり

今月はちょっと面白い本からのご紹介です。



内裏雛：
衣裳着・中～最上級品
雛壇セット：
7段飾り・中～最上級品

	内裏雛	雛壇セット
昭和35年	4千円～3万2千円	3万3千円～18万円
昭和42年	5千円～5万5千円	4万円～30万円
昭和53年	1万3千円～30万円	8万8千円～140万円
昭和60年	2万円～45万円	12万円～200万円
昭和63年	3万円～95万円	15万円～300万円

有名老舗人形店の資料によるひな人形の値段の移り変わりです。有名店なので価格帯は高めかもしれません。昭和42年と昭和53年の間は随分値段が上がっていますが、おそらく昭和48年（1973年）の第一オイルショックの影響ではないでしょうか。

ちなみに昭和35年当時の公務員の初任給は12,900円です。

反対に値下がりしているものもありました。一つはシャープペンシルです。多機能で高額なシャープペンシルもありますが、現在では100円程度の普及品も昭和37年には300円程度だったようです。

国産第一号のテレビは昭和28年に登場しました。14型白黒で17万5千円です。

技術の進歩で値段が下がるものがある一方、人手や手間がかかるものは値段が上がる傾向があるようです。

教育費はどう変わった？

この本にはないのですが、人手がかかるものの代表に教育費があります。

2016年の国立大学の授業料は、535,800円です。文部科学省のデータによると1975年（昭和50年）の授業料は、36,000円だったので、40年で約15倍になっています。

子供が生まれて大学進学まで18年。その間に大幅に授業料が上がっていると準備の負担も大きくなります。

1998年（2016年の18年前）の授業料は469,200円でしたから約14%値上がりしたことになります。

デフレの時代と言われていますが教育費は着実に値上がりしています。

老後の準備はインフレ対応も重要

もう一つ時間をかけて準備するのに老後の資金準備があります。リタイヤ後の期間が長くなっていますので短い時間では思うように準備ができません。

期間が長い場合にはやはりインフレへの対応が必要になります。

高齢になってから多く使うものに医療費があります。昭和52年1月までは70歳以上の高齢者の医療費は無料でした。その後徐々に自己負担が増えていて、平成20年からは70歳～74歳は2割負担になりました。これもある意味インフレと言ってよいかもしれません。

教育費や老後の資金準備のように時間をかけて多額の資金の準備をする必要があるものは、金額は勿論のことですが、インフレも考慮にいれた準備が必要になります。

文部科学省HP掲載資料

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/_icsFiles/afieldfile/2015/12/25/1365662_03.pdf

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎていないか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- ・昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- ・年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- ・最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に□、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を差し上げます。

- 生命保険のお得な入り方
- 加入生命保険の内容を確認したい
- がん保険・先進医療保険について
- 損害保険のお得な入り方

- その他

- 年金定期便の見方
- 老後資金の準備について
- 教育資金の準備について
- 年金商品の選び方
- 確定拠出年金の商品選びについて

お名前

電話番号

(ブロック体でご記入ください)

メール

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒
<http://fp-matsumoto.com/contact/>



FAX : 050-3730-0380

個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内